

無断転機転用禁止

『超遠赤外線』

テラヘルツ有効波『微細振動波』活用

はじめに

超遠赤外線(テラヘルツ波)との出会いは、約10年前に知人の紹介から、、、、
約10年前に、恩師の病氣治そうと知人から怪しいけど！？面白い技術があるよ！と紹介されたのが始まりでした。正直なところ、最初に話を聞いたときは怪しいとしか思わなかった技術。

しかし、後に様々な世に出てる類似品を知り、私自身、友人などの不思議な体験を経験することで、怪しいという気持ちは、この技術は素晴らしい！と確信を持つことが出来ました。超遠赤外線技術を応用し、様々な商品、サービスを約10年間やり続けてこれのは、家族・関係してくださる関係者の皆様があったからだと思います。心より感謝しております。

今後も、人のため世のため！超遠赤外線技術を活用し様々な悩み問題を解決できるよう取り組んでいきます。

こんなことできないか？あんなことはできないか？などありましたらぜひ一度お声がけください。

代表 廣川翔之輔



超遠赤外線とは？

超遠赤外線は、テラヘルツ波という、私たち人類の有史以前から存在する太陽や月からのエネルギーで、地球上の全生命体に多大な恩恵を与えている光の中に存在する『微細振動』のことを言います。

テラヘルツ波を応用した技術は、二十一世紀最大の新技术ともいわれ、医療だけでなく様々な分野に大きく貢献するエネルギーとして注目されています。

世界ではじめて応用したのがNASA！

アメリカのNASAでは、「宇宙船内における人間の生存条件」という研究で、太陽エネルギーの内で周波数32Thz～38Thz、波長6～12 μ mの超遠赤外線が生物の生存に欠かせないことを発表しました。この遠赤外線は、育成光線や生命光線と呼ばれ、テラヘルツ波の中に入ります。

当社では、特に人間や動植物にとって、どのような周波数や波長のエネルギー帯が一番良い影響を与えてくれるのかを検証し、商品開発を進めてきました。

その結果、人間や動植物に良い結果をもたらすだけでなく、物質の電子を整列化し、抵抗を少なくしたり、電流のノイズをカットして、電子の流れ(電流)をスムーズにする等、当社独自の周波数と波長のエネルギー帯で商品開発を進めてきました。

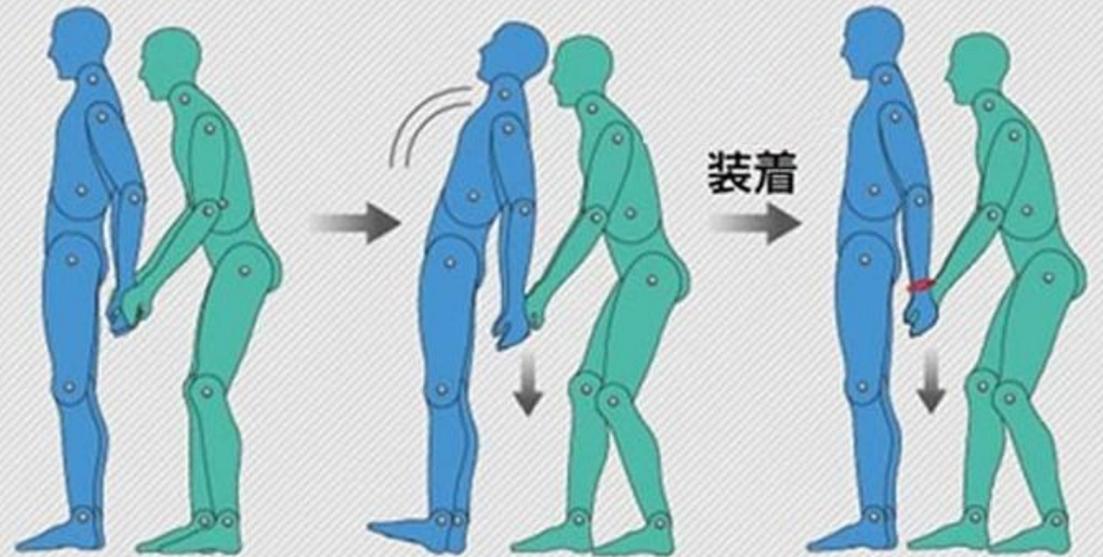
※この周波数、波長をさらに絞りもっとも人間に効果が見込める領域がテラヘルツ有効波と呼ばれています。私たちは超遠赤外線呼んでいます。

独自の技術

(日常のあらゆる物体を超遠赤外線(超微細振動)加工することに成功)

現在他社で販売されているテラヘルツ加工商品などと謳われているものは、シールやシリコン、金属など、商品の一部にしかテラヘルツを発生させる箇所がなく、その部分が損傷したり紛失すればまったく効果のないものになってしまいます。それと加工上の技術の問題なのか非常に高価な商品が多く見受けられます。また、電池などを使い微細振動を発生させている商品などもあるようですが、耐久性・利便性に乏しく、スポーツや日常利用には不向きです。独自の技術により、あらゆるものに超微細振動を直接印加することに成功し、従来の商品の問題点をすべてクリアーした世界で唯一の商品なのです。従来のシリコンブレスレットやスポーツネックレスだけではなく、パワーストーンやシルバーアクセサリ、健康用品(腰痛 ベルト、サポーター)、衣料用品、飲料水、日用品(食器、寝具)など、あらゆるシーンに対応した商品を提供することができるのです、しかもその微細振動は半永久的なのです。今後さらにさまざまな商品に微細振動を印加させて、そのパワーとバランス効果を幅広い分野に広めていきたいと考えています。

超遠赤外線を体感！ 簡単なパワーチェック方法



1, 両手をうしろ手にしっかりと組み、両手を揃えて立ちます。組んだ両手に、上から力を加えてもらいます。

2, 何もない状態では、簡単にバランスを崩してしまいます。

3, 装着した状態では、バランスが安定し、押す力に抵抗できます。本来のパワーが発揮されます。

ルードアプローチ効果

微細振動が人体におよぼす効果としては「ルードアプローチ効果」があり、1950年代、アメリカの理学療法士でもあり、作業療法士のマーガレット・ルード氏は、ルードアプローチと呼ばれる、身体に振動や刺激を与えて治療する促通方法を考案しました。昨今、この理学療法の代表的な治療手技の一つである、ルードアプローチ(筋神経伝達の促通)理論を応用した技術が、リハビリ治療や、スポーツ、健康、美容などの世界で広く採用されています。

微細振動が人体に与える効果とは？

一般的に振動の周波数は細かければ細かいほど伝導速度は速くなり、身体に良い影響を与えられているようですが、MVは非常に細かい固有の振動を有し、その振動数は非常に微細である為、あらゆる物質を活性化すると思われれます。特に人体において言うならば細胞レベルへTRの超微細振動が伝達する事により、血行促進や新陳代謝の活発化が起期待できます。これはMVの振動が水と反応する事により起こる作用ですが、人間の全身には隅々まで血液が循環し、水分が行き届いています。この生体中の水分にMVの超微細振動が伝導し、細胞が調律され、人間が本来あるべき健康な状態へと導こうと常に働きかけ、生体バランスを整え恒常性を保つ事に非常に大きな影響を与えられています。

独自の技術

(日常のあらゆる物体を直接超遠赤外線(超微細振動)加工することに成功)

現在他社で販売されているテラヘルツ加工(超遠赤外線)商品などと謳われているものは、シールやシリコン、金属など、商品の一部にしかテラヘルツを発生させる箇所がなく、その部分が損傷したり紛失すればまったく効果のないものになってしまいます。それと加工上の技術の問題なのか非常に高価な商品が多く見受けられます。また、電池などを使い微細振動を発生させている商品などもあるようですが、耐久性・利便性に乏しく、スポーツや日常利用には不向きです。MVは独自の技術により、あらゆるものに超微細振動を直接印加することに成功し、従来の商品の問題点をすべてクリアした世界で唯一の商品なのです。従来のシリコンブレスレットやスポーツネックレスだけではなく、パワーストーンやシルバーアクセサリー、健康用品(腰痛ベルト、サポーター)、衣料用品、飲料水、日用品(食器、寝具)など、あらゆるシーンに対応した商品を提供することができるのです、しかもその微細振動は半永久的なのです。今後さらにさまざまな商品に微細振動を印加させて、そのパワーとバランス効果を幅広い分野に広めていきたいと考えています。

超遠赤外線(テラヘルツ有効波)加工とは。

自然界のテラヘルツ波光線は、自然の鉱物や無機物、生命や生物、生体の有機分子の結晶格子の熱振動によって発生しています。

しかし、それら自然界の物質は放射量は少しです。

人工的に発生させた強力なテラヘルツ波を物質や液体に照射すると、その物質や液体の分子や原子の格子振動が激しくなり、結晶構造が変化します。その結果、物質のテラヘルツ波の放射量や平均放射率が大変高くなります。超遠赤外線(超微細振動)加工

言い換えると、物質がテラヘルツ放射体に変化し、逆に近くの物質にテラヘルツ波を大量に放射するようになります。

これをテラヘルツ加工又はテラヘルツによる物質変性といいます。

物質がテラヘルツ放射体に変化しますと物質そのものの質が向上し、本来の性質や特徴が大きくなります。

その結果、食品の味が改善されたり、鮮度を長時間保持したり、醗酵や醸造が急速に促進したり、その他あらゆる物質の本来の性質や生命力が強くなってきます。

例えば、飲用水や食品だけでなく、鉱石や金属、ゴム、プラスチック、繊維などあらゆるものをテラヘルツ加工しますと、それらの物質はテラヘルツ放射体に変化し、近くの他の物質や生体にテラヘルツ波のエネルギーを与えるようになります。

《 波長から見た育成光線 》



超遠赤外線

超微細振動

(共振共鳴作用)

人間の身体は、量子の集まりと考えられ、量子とは波と粒子の両方の性質を持つミクロの存在です。

波として存在する音に、心地良い音(振動)と不愉快に感じる音(振動)があるように、量子の波にも 身体に良い振動と悪い振動が存在します。

その伝わり方は音叉をイメージしてください。音は空気を振動させた一種のエネルギーであり、片方の音叉を叩くと、叩いていない方の音叉にも振動エネルギーが伝わり共鳴します。

これは、音波のエネルギーが空中を経由して、もう片方の音叉に伝わるからです。

このように同じ周波数(振動数)の音叉は、共振共鳴現象によって、振動し出し音が鳴ります。

波長(周波数)が同じであれば、音叉の音でも超遠赤外線(テラヘルツ波)でも自然に同調して共振共鳴します。

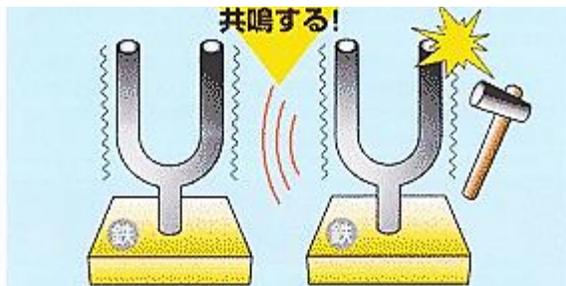
しかし、周波数が異なる場合は、片方の音叉を叩いても、他方の音叉の振動数(波長)に特別な変化は起りません。個体には固有振動数というものがそれぞれ決まっており、固有振動数が同じものでなければ共鳴しません。

私たちは、心地が良いと思う振動・共鳴で、心に安らぎを与え、免疫力を向上させ、体に良い影響があると言われてしています。

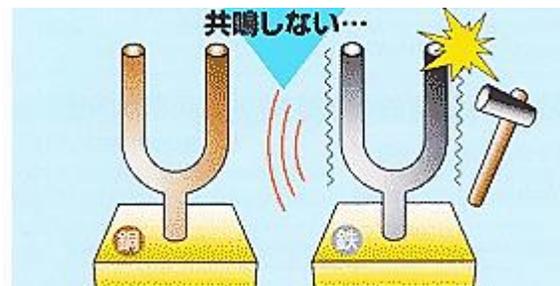
人体に起こる病気の発生メカニズムが、この人体に悪い振動にあるとしたら、それを元の正常な振動へ修復することで病気を治す可能性があると考えられます。

この振動の乱れを修正するためには超遠赤外線(テラヘルツ波)が有効であると近年注目されており、病気の治療につながる科学的論文が、欧米雑誌では次々に発表されています。

同じ波長(周波数)の場合【鉄同士】



異なる波長(周波数)の場合【鉄と銅】



(水素結合を分離)

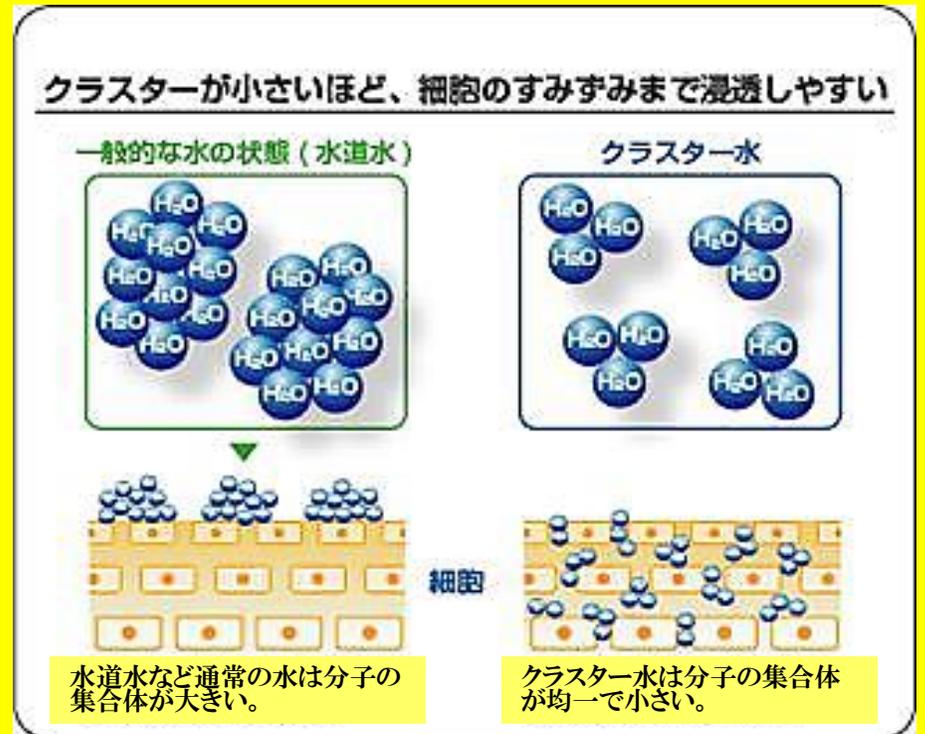
超遠赤外線を照射することで、水素の固有振動数と共振共鳴を起こし、水のクラスターの水素結合を分離し H⁺ イオンと e⁻ イオンが発生、細胞を活性化させます。

超遠赤外線は水と非常に相性が良く、水はこのエネルギーを蓄積して他に放射する性質を持っています。

私たちの身体の水分は60~70%で、脳の水分は約85%、血液の水分は約90%。この水分の分子と超遠赤外線の周波数と波長が共振共鳴してエネルギーとなり、身体に蓄えられ放射して健康を保っています。

生物の中で最も多く超遠赤外線を放射しているのは人間で、人間の中では**赤ちゃんが最も多く放射**しており、加齢と共に放射量(蓄積しているエネルギー)は減少していき、特に病気の方は極端に少なくなっています。

その生命力が低下した身体に超遠赤外線を取り入れることで、**人体のテラヘルツ有効波の放射量を高めることができます。**
そうすることで、水分子のクラスター(水素結合で結びついてできる集合体)を微細クラスター化し、細胞を構成する分子の結晶構造(原子の配置構造)を正常化させます。
その結果、自然治癒力や免疫力を高め、細胞を若返らせることが可能となります。
超遠赤外線は、自然界のあらゆる物質から放射されている電磁波ですので、身体にいくら透過させても全く害はありません。



(H^+ イオン・ e^- イオン)

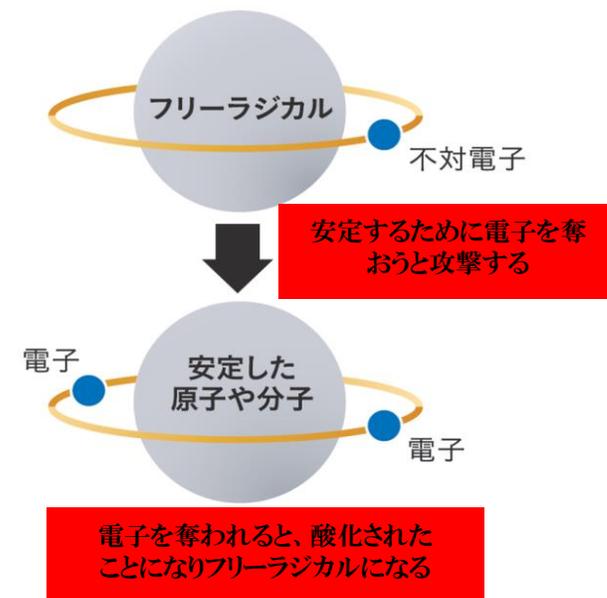
あらゆる病の元を辿れば、約90%は活性酸素が原因と言われています。私たちは、ストレス・化学物質・農薬・医薬品の摂取等、酸化社会で日々闘っています。健康な身体や若々しい肌を保つには、いかに酸化を還元できるかにかかっているのです。

最近、水素水が流行っていますが、 H_2 は気体のため、水中に長くとどまることができません。一方、 H^+ イオンは水分に溶け込んでいるので安定しています。超遠赤外線の照射により体内の水分の水素結合が分離されて H^+ イオンが更に増えることで酸化還元作用が働き、OHラジカル(活性酸素のなかでも最も反応性が高く酸化力が強い)等の活性酸素を無害にしてくれるのです。

身体は、約37兆2千億個の細胞で構成されており、細胞 → 分子 → 原子 から成り立っています。

原子は、核を中心に周りの軌道にペアを成した2つの電子が回っています。しかし軌道に電子が1つしか存在しない場合が出てきます。このペアがいなくなってしまう原子または分子をフリーラジカルといいます。

電子が1つ欠けるとアンバランスな状態となり、バランスをとるためペアになる相手を探して他の安定して存在している原子や分子から奪い合います。この電子の奪い合いが細胞の中で毎日起きており、正常な細胞を傷つけ病気の原因になるという仕組みです。



電子が1つなくなった状態を酸化されたといい、電子を1つもらうことが出来れば還元されたといいます。つまり体内の電子不足があらゆる病の原因になり、酸化された細胞に電子を補充することで元気を取り戻していきます。

電子を失って不安定になっている細胞は、 e^- イオンとくっつくことで正常な細胞に戻ります。

超遠赤外線の照射により体内の水分の水素結合が分離され、 e^- イオンが更に増えることで酸化還元作用が働き、生体エネルギーが蓄積されていくのです。

(赤血球)

超遠赤外線が輻射されたリングを患者のかたに身につけてもらい、10分という短時間でルロー状態の赤血球が100%正常な血液になることを、生体血液細胞分析 (LBA) 法で証明。

健康とは、“**すべての細胞に質の良い血液をしっかりと流せている状態**” を言います。

私たちの体には1.23Vの微弱な電気が流れており、超遠赤外線は生体電流のノイズをカット、電子を整列化、生体電流が正常に流れるようになります。

結果、血液中の水分の分子結合も小さくなってドロドロ状態の赤血球がサラサラになり、血流が良くなることで毛細血管の隅々にまで酸素や栄養が行き渡って老廃物もより良く排出され、細胞の新陳代謝を助長し、健康な身体を維持することができるのです。

本来、赤血球はバラバラの単体です。

赤血球の細胞膜表面には、マイナスに荷電した糖鎖に覆われ反発し合うため、連鎖や凝集はしません。

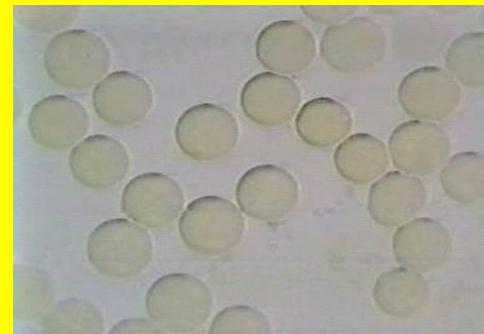
赤血球の大きさは、 7.3μ から 8.0μ の円形です。しかし、体内環境がプラスイオンであった場合や水分不足の人の血液は濃くなり、赤血球の集合が多く発生します。

また、糖分を多く摂る人は、糖分をエネルギーにするインシュリンの生産不足による糖分過多により連鎖状態になります。たんぱく質または脂肪の代謝を行う肝臓の代謝力低下、あるいは脂質摂取過多の場合、血液は粘度を増し接着剤の役目をします。まず健康であるための条件は、赤血球がバラバラであるということです。この条件をクリアしていれば、病気になりにくい体が出来上がっていきます。

ルロー状態(血液ドロドロ)の赤血球



10分後、正常(血液サラサラ)の赤血球



(皮膚)

前述したフリーラジカル (電子が1つなくなった原子または分子のこと) が攻撃対象とするのは 体を構成する組織(臓器)のたんぱく質や脂質ですが、特に細胞膜をめがけて攻撃します。身体最大の臓器ともいえる皮膚の細胞には細胞膜が存在し、紫外線や洗剤・シャンプー・洗顔剤・化粧品等に含まれている化学物質が引き金で発生する肌のラジカルは細胞膜まで溶かしてしまいます。

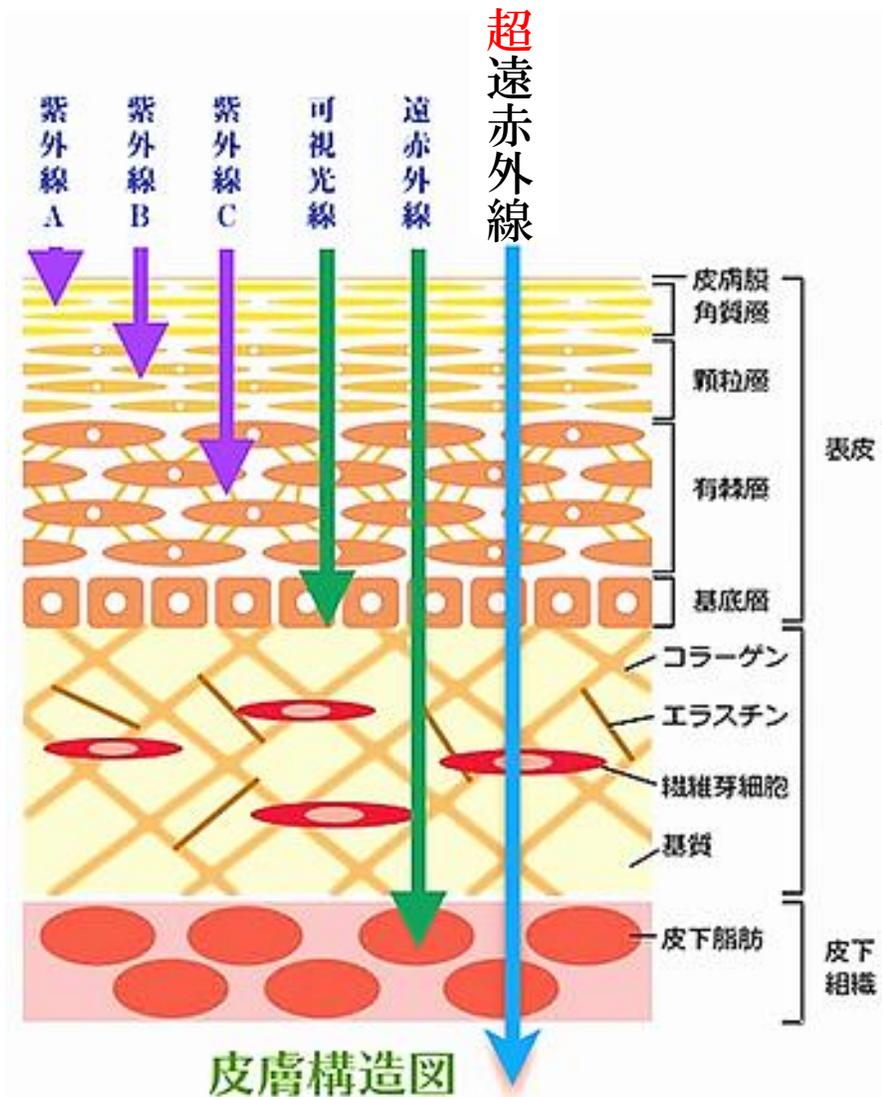
肌の細胞も細胞膜を通して酸化還元反応が行われているので、細胞の電子不足により細胞膜が壊れていると、いくら口から栄養を摂取しても取り込めなくなります。これが肌の代謝に関わる しみ・しわ・アトピー・肌荒れ などに関係します。

治療等に使われる遠赤外線は、分子振動を吸収する物質の表面には吸収されますが、内部までは到達しません。

超遠赤外線は透過性と内部吸収性に優れており、身体の深部 (皮下組織以下) まで浸透し、分子同士の共振共鳴作用によって、**不健康な振動の細胞を健全な振動へと改善、細胞を正常に活性化**します。
まさに、超遠赤外線と呼んでいいでしょう！

超遠赤外線が蓄積されたミネラルウォーターを毎日飲むことや、超遠赤外線加工したシャワーヘッドでシャワーを浴びることで肌の代謝改善に役立ちます。

超遠赤外線の人体への透過率



(加工)

全ての生命体に必要不可欠な超遠赤外線の大きな特徴として、このエネルギーを照射した物体は、超遠赤外線を放射する物体に生まれ変わることです。これを当社では超遠赤外線加工と呼んでいます。

自然界の物質も超遠赤外線(テラヘルツ有効波)を放射していますが、放射量が少なく周波数の違いからも、そのままではテラヘルツ有効波効果がほとんど期待できません。そこで、電子回路で人工的に発生させた強力なインコヒーレント(波の持つ性質の一つで干渉のしやすさを表す)な超遠赤外線を人工的に物質に照射すると、その物質の分子や原子の格子振動(固体の熱運動の一種)が激しくなり、結晶構造が整列変化して、テラヘルツ有効波の放射量や平均放射率が高くなり、物質が超遠赤外線放射体に変化します。その結果、近くの物質に超遠赤外線を大量に放射するようになります。これをMV加工、または超遠赤外線による物質変性といいます。物質が超遠赤外線放射体に変化すると、物質そのものの質が向上し、本来の性質や特徴が大きくなります。

そのため、食品の味が改善されたり、鮮度を長時間保持、醗酵や醸造が急速に促進したり、その他あらゆる物質の本来の性質や生命力が強くなってきます。飲用水や繊維など普段使用されている物をMV加工することで、それらの物質は超遠赤外線放射体となって、超遠赤外線を与えるようになりますから、毎日身に着けて超遠赤外線を取り込むことができます。

〔例〕

- ・下着・肌着・タイツ・ソックス・ネックウォーマー・就寝時の枕カバーやシーツ(疲労回復)
- ・飲料用ペットボトルなどを置くコースター(水分補給) ・シャワーヘッド(肌トラブル改善)[別紙参照] など

【超遠赤外線と共振共鳴する物質として】

- ・水素結合を含む物質(水、タンパク質 等)
- ・金属材料(自由電子が多い) 銅、アルミ 等
- ・MVエネルギーと同一振動数の電磁波放射物質
- ・分子・分子結合の構造が不安定な物質(金属シリカ、ガラス、有機ガラス)
- ・炭素系、ケイ素系
- ・天然繊維(絹、綿、麻)、一部化学繊維
- ・木材、紙

人体への効果と応用分野

【人体への効果】

- 共振共鳴で人体を構成する分子や水の水素結合を分離し、細胞を活性化、赤血球のルロー状態を分離・浄化。正常化した赤血球は、酸素や栄養素を効率よく細胞や組織や器官に運ぶ。
- 水素結合が分離され、水分子のクラスターに閉じ込められていた有害物質を体外へ排出。
- 硬くなった患部の細胞や筋肉組織は柔らかくなり、血管や神経の圧迫を減少、血流や神経の流れが円滑になり疼痛が緩和。
- 還元作用で老化防止。
- 脳波の電子の動きを整え、特に副交感神経の伝搬を円滑にし、リンパ球が増えて免疫力向上。
- 余剰な体脂肪を低分子量化し、代謝・燃焼することで瘦身効果。
- 脳波の乱れを起し免疫力を低下させる電磁波障害を緩和。
- 生体電流のノイズがカットされ、電子の整列化で生体電流はスムーズになり、細胞の生体リズムが正常に戻ることで細胞再生能力を向上させ、早期回復に貢献。

【様々な材質や形状の物体に超遠赤外線加工することで、多種多様な産業に応用範囲拡大】

- ◆ 衣 : 機能性健康繊維、夏涼しく冬暖かい、疼痛緩和、血流改善
- ◆ 食 : 鮮度保持、飲料水・調理水の浄化、低温乾燥 等
- ◆ 住 : 断熱、消臭、抗菌性向上、機能性塗料 等
- ◆ 美容健康 : 血液浄化、疼痛緩和、老化防止、免疫向上、ストレス緩和
- ◆ 運動 : アスリートのパフォーマンス向上
- ◆ 燃料 : 燃費削減、オイルの長寿命化・高出力化
- ◆ 電力 : 電流のノイズカット、有害電磁波(EMI)軽減、熱交換率向上のフィルター
- ◆ 電機 : 冷凍機など電気製品の省エネ化、高効率ソーラーパネル
- ◆ 水処理 : 水質浄化、水質活性化
- ◆ 農業 : 土壌改善、早期収穫、収量増加、農薬使用量減少
- ◆ 養魚 : 高密度養殖、生存率向上、収量増加、早期出荷
- ◆ その他 : バッテリーの長寿命化、人工的光合成、マイナスイオン効果 等

節電概論

《節電概論》

冷房・冷蔵・冷凍の場合

熱交換装置の吸気口部分に超遠赤外線フィルターを取り付けると、装置内に送り込まれる空気の水分や装置内に結露している水滴に対して、超遠赤外線が共振共鳴作用を起こし水素結合を分離するため水分のクラスターが小さくなり低温でも活発に蒸発するようになります。

つまり、熱交換効率が高くなるので、設定温度が高くても冷房効果が上がります。

※設定温度を上げる調整が必要です。

※Netあり、なしのログデータあり

※冷房の設定温度を1度上げるだけで約13%の節電になります。(環境庁データベースより)

②暖房の場合

冷房の場合と同じように熱交換効率を高めて節電効果を発揮します。

③動力関係

電線に超遠赤外線資材を取り付けると超遠赤外線が電線に照射され、電線内の電子の乱れ、特に細かいノイズを調整し電子の流れを円滑にします。

また、電線や導体の結晶構造の整列化により、抵抗が小さくなります。

電子の流れ（電流）が円滑になると電線内を移動する際の抵抗が減少することと、導電体の抵抗値が小さくなることにより、発熱によるエネルギーロスを減少させることができます。

節電概論 配線類

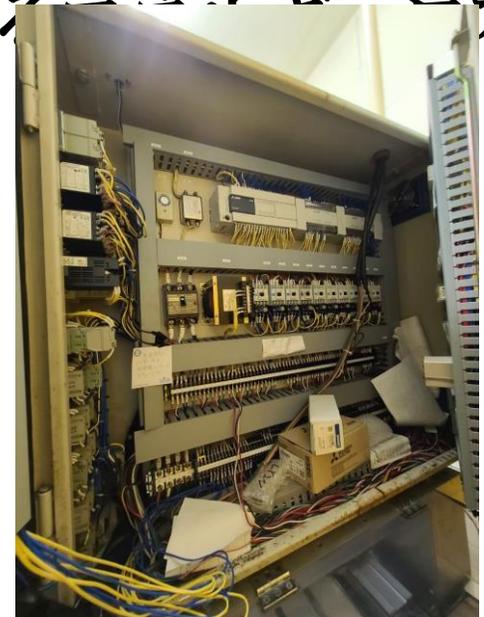
◆動力関係の場合◆

電線に超遠赤外線資材を取り付けると超遠赤外線が電線に照射され、電線内の電子の乱れ、特に細かいノイズを調整し電子の流れを円滑にします。
また電線や導体の結晶構造の整列化により抵抗が小さくなります。

電子の流れ(電流)が円滑になると電線内を移動する際の抵抗が減少することと、導電体の抵抗値が小さくなることにより、発熱によるエネルギーロスを減少させることができます。

エネルギーロスの減少は、節電効果を生み出します。

有名ホテル・コンビニエンスストア・ドラッグストア・工場等施工実績多数。
現場見学もできますので、ぜひお問い合わせください。



超遠赤外線フィルター編 冬

同室・同型の2台のエアコンを使用し、超遠赤外線 Net を1台の空気取り入れ口のフィルターに、フィルター面積の1/3～1/5を目安としてカットして装着。吹出口の温度を温度ロガーで同時刻に測定。

さらに測定精度を上げるため、超遠赤外線 Net をエアコンAとBで入れ替えて測定した。

◆エアコン設定(2台共): 暖房25℃、風量自動◆測定日(測定時間): 2021年2月7～8日(20時間)、2月9～10日(21時間)

測定日	(1回目)2月7～8日		(2回目)2月9～10日	
装着の有無	エアコンA/有	エアコンB/無	エアコンA/無	エアコンB/有
最高温度℃	39.2	31.1	34.1	40.1
平均温度℃	36.1	29.4	31.6	36.8

最高温度で平均7.05℃、平均温度で平均5.95℃、吹出し温度が高くなった。

暖房・加湿効果

活性化された室内空気により、室内の水分が気化し、湿度が増すことで空気容量が増し、熱交換率が良くなります。

また空気が活性化する事で体感温度が上昇し、暖房設定温度を下げる事が可能になります。

暖房の場合、設定温度1℃下げると約10%の節電・空気浄化。

冷氣生成効果

室内空気を活性化し、空調装置内の結露水滴の水素結合を切り離し、水分を単分子化します。単分子化された水滴は相変化が容易になり、低温で活発に蒸発し、気化熱を奪い、エネルギーを使わずに冷氣を作り出します。冷房の場合、設定温度1℃上げると約13%の節電・空気浄化。

※寿司の冷蔵ネタケースやスーパー・コンビニなどの冷飲料の循環空気吸気フィルター、オープンケースの下部吸気フィルター等に設置すると節電になります。



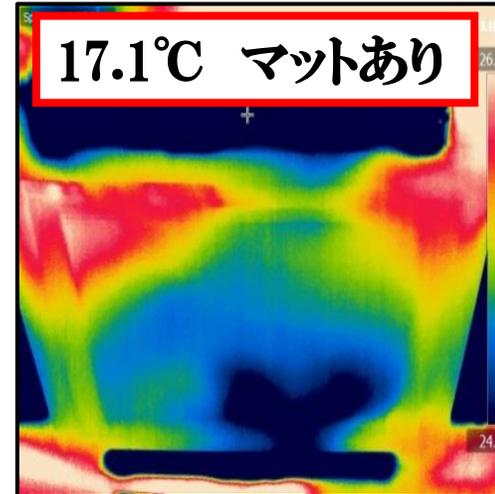
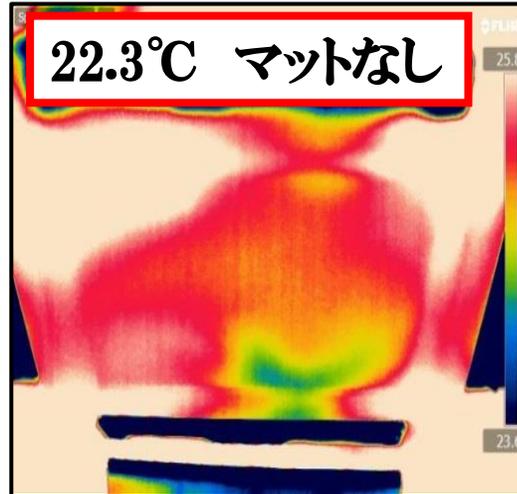
MV-ES Netを装着したエアコン

節電検証 (節電用夏バージョン)

1台のエアコンを使用し、超遠赤外線Net装着前のエアコン吹き出し口空気温度を遠赤装置で温度測定をし、測定後即、約25cm×30cmの超遠赤外線Netを空気取り入れ口のフィルターとカバーの間に装着し、同じ遠赤装置で温度測定をし、比較した。

測定状況

- 測定場所:沖縄県那覇市
- 測定日時:2021年9月1日
- 最高気温:32.6°C 最低26.2°C 湿度89~91%
- エアコン:冷房運転 24°C設定 自動運転
- 測定機器: FLIR(フリアー)FLIR E5-XT 19200画素 赤外線サーモグラフィー 及び おんどとりTR-72NW



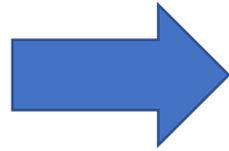
超遠赤外線Net



おんどとりデータでは、2時間ほど計測して
マットなし最低21.8°C
マットあり最低14.8°C を計測した。

特に、湿度の高い地域ではマットの効果は大きく作用すると考えられる。
エアコン温度設定は通常より+3~5°Cあげてもいいと考えられる。

節電検証 MV加工した遮熱塗料を室外機に塗布 使用電力測定



同室内に設置されている同型の二台のエアコンの設定を同じにし、一方の室外機にMV加工した遮熱塗料を塗布し、同期間、同時運転し消費電力を測定比較した。

なお、エアコン及び室外機はすでに10年以上使っている物でした。

あまりの暑さに、オーバードローした日もありましたが、遮熱塗料塗布後そのようなことも全くなく使用できているそうです。

測定状況

- 測定場所:新潟県新潟市
- 測定期間:2021年9月1日～9月7日
- エアコン:冷房運転 26℃設定 自動運転
- 測定機器:普通電力量計電子式電力量計 M2PMシリーズ

塗布有、無では

使用電力量**53.2%**の差がありました。

※場所により削減率は変わりますが、確実に節電効果は確認できております。